

# 北野天満宮（観梅）

第190回くらわん会例会 2012/3/6（火）



- ☆ <行程> 京阪本線・出町柳駅 ⇒ 糺の森（朝会） ⇒ 京都御苑（観梅） ⇒ 北野天満宮（観梅）  
 ⇒ 衣笠児童公園（昼食） ⇒ 船岡山公園（休憩） ⇒ 大徳寺（一次解散） ⇒ 地下鉄・北山駅（解散）  
 <歩行距離> 約8km <参加者> 121名

<p>3月5日朝刊天気予報</p>	<p>ここ数日間の天気予報では、当日は雨天と報じられていた。前日の朝刊では降水確率90%、昨年の北野天満宮の観梅も大雨で半日で解散したことを思い出し、短縮行程覚悟の前夜であった。</p> <p>所が当日朝になると、京都は「曇りのち晴れ」という嬉しい予報に変わっていた。</p> <p>枚方の朝は小雨であったが、京都では雨も上がり、寒すぎることもなく、丁度良い早春のハイキング日和であった。</p> <p>左に前日朝の予報、右に当日朝の予報を掲載するが、晴れ男、晴れ女に、先ずは乾杯！</p>	<p>3月6日朝刊天気予報</p>
-------------------	---	-------------------

## ☆ 京阪本線・出町柳駅 ⇒ 糺（ただす）の森（朝会）



「糺の森」は賀茂川と高野川の合流地点に発達した原生林で、東京ドームの約3倍の面積があり、森林の全域が1983年に国の史跡として指定を受け、1994年には下鴨神社全域が世界遺産に登録されている。



京阪・出町柳駅（地下）を上がり、高野川を渡ると下賀茂神社に出る。この境内の「糺の森」へ参集した元気印は121名。「今日は天気になって良かった」という話があちこちで聞かれる。

今日の初参加者は4名で、皆様からご挨拶を頂き、コース説明、多数回参加表彰、次月予定説明など恒例の朝会后、最初の訪問地「京都御苑」に向かう。



## ☆ 京都御苑（観梅） ⇒ 北野天満宮（観梅）



京都御苑は、京都御所を囲む面積約65haの公園で、いつでも自由に入ることができ、東西約700m、南北約1,300mの広大な敷地は、江戸時代には200もの宮家や公家の邸宅が立ち並んでいた場所である。

我々は御苑東部の「石薬師御門」から入る。平日の午前中でもあり、静粛な雰囲気の中で散策を楽しんでいる方、写生を楽しんでいる方等が見られる。



肝心の梅は未だ「3分咲き」といった感じで、2月が寒かったので例年より開花が遅れている。次の北野天満宮の観梅に期待する。





「中立売御門」から出て、中立売通りの商店街・住宅街を西へ約40分進行し、見覚えのある「北野天満宮」に到着する。

学問の神様「菅原道真」を祀った神社で、時節柄参拝者は多く、本殿には参拝の行列も見られる。

肝心の梅は、平均「5分咲き」といった所であり、有料梅園への入場者も少ない様であるが、境内の梅は沢山あって満開に近い木、珍しい木もあり、皆様結構楽しまれていた様である。

時間的には、ここで昼食が望ましいが、休憩所を「くらわん会」で占有してしまい、一般の参拝客に迷惑をかけるので、下見段階の検討で、昼食場所は近くの「衣笠児童公園」と決めており、ここへ移動する。



ここで「ハプニング」発生、市街地行進のため通行人に迷惑をかけない様に2班に分かれて行進していたが、後班が何故か道を間違え、15分以上遅れて昼食場所に辿り着くことになる。

☆ 衣笠児童公園（昼食）⇒ 船岡山公園（休憩）⇒ 大徳寺（一次解散）⇒ 地下鉄・北山駅（解散）



第1班の昼食が終わる頃から第2班の昼食が始まる。当日第2班には「昼食宴会集団」が2組おり（写真左）、短縮された昼食時間には当然終了せず、出発の笛に不満を露わにしながらも、渋々立ち上がる。



午後はここから約30分進行して「船岡山公園」に向かう。船岡山は標高112mであるが、市街地北方の眺望は素



晴らしい。ここから「送り火」の4山が見られることから、「送り日」当日は大混雑するということである。確かに「左大文字」と「船形」は間近に見ることができた（写真右）。ここで暫しの休憩後、一次解散地の「大徳寺」に向かう。



大徳寺は京都でも有数の規模を有する禅宗寺院で、境内には仏殿、法堂（はつとう）をはじめとする中心伽藍のほか、20ヶ寺を超える塔頭（たっちゅう）が立ち並び、近世の雰囲気を残している。



大徳寺は歴代多くの名僧を輩出し、茶の湯文化とも縁が深く、日本の文化に多大な影響を与えてきた寺院である。



ここで一次解散となり、引き続き寺院を散策される方、地下鉄・北大路駅へ向かわれる方、バスで京阪三条へ出られる方、樟葉の居酒屋集合に話移っている方（筆者）等に分かれ、本日の楽しい一日を終える。



<レポート：吉川、 写真：吉川、齊藤>

